



2024年8月29日

NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社サイエンスアーツ

NTT Com とサイエンスアーツ、令和 6 年能登半島地震において被災地で活動 するボランティアへ Buddycom を提供 ～コミュニケーションの短縮で、復旧のスピードをアップ～

NTT コミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）と株式会社サイエンスアーツ（以下サイエンスアーツ）は、2024年2月より、サイエンスアーツが提供するデスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」を、七尾市災害ボランティアセンターをはじめとする、石川県の複数機関へ提供しています。

1. 背景および実施概要

災害ボランティアセンターでは瓦礫の撤去や災害廃棄物の仕分けなどを行う上で、ボランティアセンターの職員とボランティア間での連絡手段が必要不可欠となります。

災害ボランティアセンターでは令和6年能登半島地震の発災当初、ボランティアに参加する個人の携帯電話を主なコミュニケーション手段として利用していましたが、各人の位置が分からず1つの現場作業を完了する都度、次の現場を確認のため本部に戻るといった作業時間の課題がありました。

そうした課題に対し NTT Com は、より迅速かつ正確なコミュニケーションを実現するため、複数人での一斉通話が可能かつ、各人の位置情報が地図上に一目でわかる機能を搭載する「Buddycom」を選定し、七尾市災害ボランティアセンターをはじめとする石川県内の複数機関へ提供しています。

また、「Buddycom」を利用するうえで必要なスマートフォンとスピーカーマイク合計140セットについても無償で提供しています。



2. 七尾市災害ボランティアセンター 直氏からのコメント

七尾市災害ボランティアセンターでは、被災者が日常生活を取り戻すための、瓦礫の撤去や、地震で使えなくなった家財道具などの片付けや搬出、その廃棄物の仕分け、仮設住宅への引っ越し支援などを行っています。センターの職員とボランティア間のコミュニケーションとして、「Buddycom」を利用しており、コミュニケーションの短縮につながっています。それは、言い換えれば、復旧のスピードアップにつながっています。

従来はチャットアプリで情報の共有に1分以上かかっていたところ、Buddycomでは2~3秒で伝えられ、電話と違って一斉にスタッフ全員へ共有できます。リアルタイムな情報共有を実現したことで、対応件数は1日2~3件から2倍になり連続的で無駄のないボランティア活動を実現できました。また、Buddycomの翻訳機能で外国の方と、音声テキスト化・テキストの読み上げ機能で聴覚障害のある方ともスムーズにコミュニケーションが取れることがBuddycomの良いところだと思います。

3. 今後について

令和6年能登半島地震の災害現場への「Buddycom」提供をきっかけにNTT Comとサイエンスアーツはさらに連携を強化し、より迅速な復興活動に貢献できるよう一層注力してまいります。

■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網(4G、5G、Wi-Fi)を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AIを利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

NTT コミュニケーションズ株式会社について

NTT コミュニケーションズ株式会社は 1999 年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を活かし、ネットワーク、クラウド、コロケーション、アプリケーション、セキュリティなどの多岐にわたる ICT サービスを展開しています。2022 年よりドコモグループにおける法人事業の中核を担う企業として、社会・産業のグローバルレベルでの構造変革や、新たなワークスタイルの創出、地域社会の DX 支援などの価値を提供していきます。詳細は <https://www.ntt.com/>をご確認ください。

株式会社サイエンスアーツについて

株式会社サイエンスアーツは、「世界の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。

「Buddycom」は既に 1,000 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。